

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/11/29号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

新型コロナウイルス変異株の脅威で急落

NY原油先物相場は、1バレル=68ドル前半まで急落し、9月1日以来の安値を更新する展開になった。バイデン米政権が戦略石油備蓄 (SPR) の放出を正式発表した。短期的なネガティブ材料の出尽くし感、原油価格鎮静化の効果は限定的との見方から、11月24日高値は79.23ドルに達していた。しかし、25日の感謝祭で米市場が休場の間に、南アフリカで新型コロナウイルスの新たな変異株が報告されると、翌26日の取引では前日比10.24ドル安とパニック的な急落地合に転じた。

新変異株のリスクに関しては、ワクチンや治療薬の有効性、感染力の強さ、重症化・死亡リスクの高さなど、分からないことも多い。ただ、世界経済に対する深刻なリスクに発展する可能性が警戒され、投げ売りが膨らんだ。各国が南アフリカとの渡航規制に踏み切っているため、ジェット燃料需要に対しては直ちに影響が生じる可能性が高いこともネガティブ。感謝祭明け後はすぐに週末に突入することもあり、買いポジションを整理して様子を見たいとのニーズが一気に高まった。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (11月19日時点) は、原油が前週比102万バレル増、ガソリンが60万バレル減、石油精製品が197万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

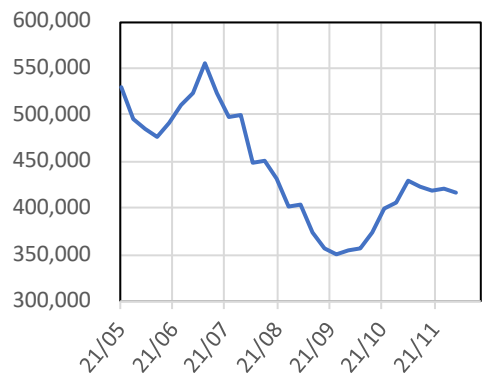
変異株のリスク評価とOPECプラス会合、経験則だと買いだが

新型コロナウイルスの変異株の評価に揺れ動くことになる。仮に世界経済に対する深刻なリスクと評価され、更に南アメリカ以外でも多数の感染報告が聞かれると、年内の原油相場の上昇余地は乏しいとの見方から更に投げ売りが膨らむ可能性がある。一方、投資家のパニック的なリスク回避の動きが一服すると、割安感や値ごろ感から早めに押し目買いが入る可能性もある。これまでの経験則からは、パニック的な急落は買い場になる可能性が高いが、暫くは上下双方にボラティルな展開が続き易い状況になっている。

バイデン政権は11月23日、SPRを放出すると発表した。米国単独で最大5,000万バレル、更に日本、中国、インド、韓国、英国との協調放出も実施される。最終的にどの程度の備蓄放出が行われるのかは不透明だが、マーケットではサプライズ感はなく、効果は限定的との見方が強い。いわゆる「噂で売って、事実で買う」相場パターンになっている。この問題に関しては、既に消化が終わったとみて良いだろう。

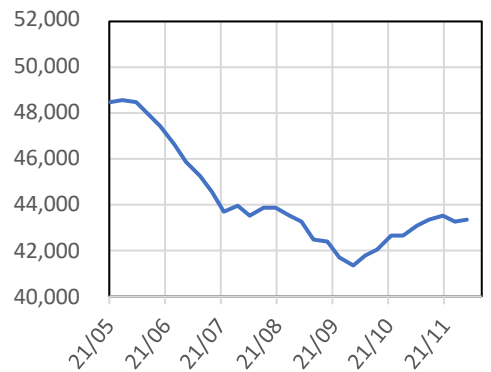
一方、12月2日に石油輸出国機構（OPEC）閣僚級会合が開催される。備蓄放出、変異株の脅威、原油相場の急落を受けて、今後の生産計画を見直すかが焦点になる。市場環境が急激に不安定化していることで、イベントとしての重要性が一気に高まっている。12月の日量40万バレルの増産計画はそのまま実行される可能性が高いが、来年1月以降の増産対応についてはブレーキが掛かる可能性が高まっている。OPECプラスの需給見通しは供給「過剰」に傾いており、需給・価格コントロールに対してマーケットに安堵感がもたらされるような対応がみられるかが注目される。改めて減産幅を拡大する、もしくは12月の増産計画を取りやめるとサプライズ感が強い。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



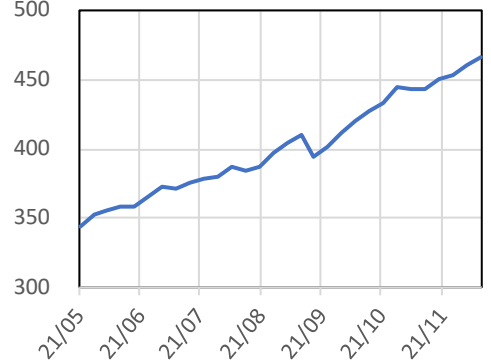
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

